

学校教育目標：「夢や目標に向かって仲間とともに主体的に学び、未来を創造できる生徒の育成」

育成を目指す資質・能力（21 世紀型”スキル&倫理観”）

課題発見・解決力

本質的な課題を設定し、よりよい解決方法を考え、実行し、新たな課題を設定することができる。

コミュニケーション能力

他者の意見を受け入れながら、相互の考えを深め、新たな方向性を見出すことができる。

主体性・積極性

周りの状況を判断し、自分で考え、行動できる。

自らへの自信・自己理解

自己の経験を社会の形成者としての自覚へつなげ、社会参画しようと努力している。

研究主題：「主体的・自律的な学習者の育成 ～論理的思考を基盤とした課題発見・解決学習の推進～」

全体計画（年間計画一覧表）

各教科で育成する力

課題発見・解決学習を行う「重点単元」を明確化

育成を目指す資質・能力と単元とのかわり

課題発見・解決学習の推進

課題の提示

- パフォーマンス課題の提示

課題発見

- 動機づけ
- 手立て①：ICTの効果的な活用

課題設定

- 生徒自身で課題を設定する～課題設定力～
- 手立て②：既有知識の活用

情報の収集

- 聞き取り調査
- 手立て③：ICTの効果的な活用

整理・分析

- 対話による自分の考えの深化・拡充
- 手立て④：思考ツールの活用

まとめ・創造・表現

- 言語活動の充実

ふり返り

- 学習内容や学習方法～メタ認知
- 手立て⑤：ルーブリックの活用

新たな課題の創造

- 主体的な学びの創造

パフォーマンス課題

本質的な問い
 学問の中核に位置する問いでもあり、生活との関連から見えてくるような問い。

必然性のある場面設定
 単元の本質的な問いを学習者自身が問わざるを得ない、必然性のある場面設定をする。

教科等を横断する汎用的なスキル
 ストーリー性のある文脈の中で効果的に使用させる。

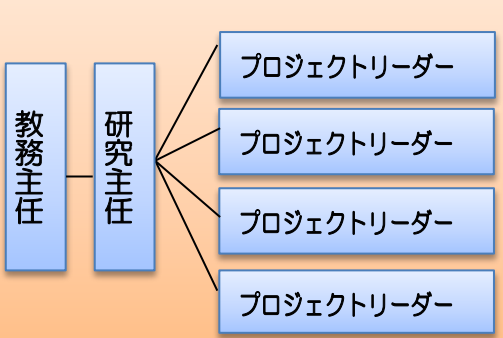
単元のルーブリック

	S:期待以上	A:十分満足	B:概ね満足	C:努力を要する
評価項目	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準
評価項目	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準

point!

- ★全教科においてルーブリックを作成する。
- ★各教科で作成したルーブリックを各教科で交流する。
- ★授業のはじめに提示し、具体的なゴールを明確にすることで生徒の学習意欲を高める。
- ★生徒と共有することで、生徒自身が理解の度合いを把握する。→メタ認知

プロジェクトチームの編成



基盤

論理的思考

・自分の考えを筋道立てて説明できる。・他の人の考えを根拠に注意して聞くことができる。

◆検証
 年間3回（毎学期末）の質問紙調査、検証・検討の実施

3月 4月～7月 7月夏休 9月～12月 12月冬休 1月～3月 3月始業

P	D	C	A	D	C	A	D	C	A
			P			P			P

◆活動の工夫
 思考ツール ICT 機器 対話

小中一貫教育の推進

○校区めざす子ども像
 「学校や地域を愛し、賢く強く生きることも～笑顔であいさつ日本～」

○組織

資質・能力を意識した日常生活・学校行事

- ① 日々の生活：
 - 【黙想】心を整える～授業・そうじの始まりの「黙想」
 - 【無言清掃】生徒が主体的にルールや目標を決めて清掃
 - 【短学活の充実】集団づくり：自己評価・相互評価
 - 【あいさつ】レベル4のあいさつを目指して
 - 【歌声】鷹中生徒が大切にしている歌：「CHANCE～未来へ～」（50周年記念オリジナル曲）
- ② 短学活交流：123年生の各クラスの班長が短学活を参観
- ③ 校内ボランティア活動：【たかティア】
- ④ 学校行事：
 - 4月：入学式 5月：体育大会 9月：オープンDAY 12月：マラソン大会 3月：卒業式
- ⑤ 部活動：目標達成に向けた生徒による主体的活動

保護者・地域とのつながり

- あいさつ運動
月に1度、保護者・地域の方も参加
- 読み聞かせボランティア
月に1度、全クラス実施
- 若鷹応援団
地域の方による学習支援
- 総合的な学習時間
ふるさと学習～ゲストティーチャー